



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行:横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644
HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

●近況報告●

暑い日が続いていますが、夏季休業中にもかかわらず朝から次々と登校する生徒が目に入ります。本校では、夏の名物である夏期講習が7月30日から始まりました。第Ⅰ期(7/30~8/4)、第Ⅱ期(8/6~10)、第Ⅲ期(8/20~24)の期間に、「基礎・基本」レベルから「応用」、「発展」レベルなど、習熟度に合わせた計80講座が開設されます。

第Ⅰ期では、学校長自らがコミュニケーション能力向上に力を入れた「言葉の力ー基本編ー(1年次国語)」を開設したほか、大学入試対策講座、化学グランプリ基礎講座など計35講座の開設を行いました。朝8時45分から午後4時までの講義、自習室での学習と懸命にスキルアップに励んでいる生徒を見てみると、暑い暑いと言ってはいただけません。自分の目標に向かって頑張っている生徒一人ひとりに熱いエールを送っていただければと思います。

サイエンスリテラシー ～「発生のサイエンス」～ (6月29日)



内山英穂先生(横浜市立大学 国際総合科学部 教授、入試アドミッションズセンター長)による「発生のサイエンス」の授業でした。発生についての講義後、実際に発生中の鶏の卵を解剖し、発生途中の胚の様子を観察・スケッチしました。

[生徒の感想]

どんな命(今回はひよこ)もはじめは目に見えないほど小さい胚から始まるのが改めて分かった。また、自身が卵黄を守る役割をしていることも初めて知った。この技術を利用すれば、衝撃に弱い製品などを安全に運ぶことも可能ではないだろうか。

トーマスジェファーソン高校 来校 (7月4日)

トーマスジェファーソン高校の生徒にご来校いただきました。カフェテリアでの食事、天体観測ドームなどの校内見学(右写真)、茶道体験などを行い、短い時間でしたが交流を深めることが出来ました。トーマスジェファーソン高校は本校生徒が1月に「アメリカ・トーマスジェファーソン高校サイエンス研修」で訪問し、互いに研究発表を行うなど、開校以来交流を継続しています。

今後もこの素晴らしい関係を強めていきたいと思えます。



真鶴フィールドワーク (7月8日)



真鶴フィールドワーク(サイエンスセンター事業)は、主に小学生を対象とし「海岸での生き物観察」および「発表」を行います。本校生徒は発表内容をまとめる手伝いなどをしており、このような行事に積極的に参加してくれることで「カッコいいお兄さん、お姉さんに憧れてサイエンスの道を志す児童が自然と生まれる」という本校が目指す姿を体現してくれています。今年のフィールドワークは「観察」だけでなく観察対象に対して「疑問」を持ち、その疑問に対して「自分の意見を述べる」という流れを行ったグループもありました!

野球部公式戦 (7月11日)

第94回全国高校野球選手権神奈川大会で、YSFHは一回戦で神奈川県立岸根高等学校と対戦しました。午前授業ということもあり、勝利を願い駆けつけた生徒は100名以上。YSFHの勝利を願い応援しました。試合は6点を先制される苦しい展開。しかし、5回、7回と点数を積み重ね、3点差で迎えた9回裏。2点を取り、1点差まで詰め寄ります!・・・反撃もここまで。惜しくも1点差で破れました。破れはしましたが、最後まであきらめない素晴らしい試合を見せてくれました。

来年の夏、勝利を期待します。



Meeting Once in a Lifetime (7月13日)



ハーバード大学の学生にご来校いただきました。毎年恒例の行事となっており、生徒主導で茶道体験・校内見学等を行います。茶道体験では、本日の題名にもある「一期一会」など、昔から大切にされている「和の心」を伝えました。

また今年も、初めての試みとして浴衣を着ていただきました。校内見学では生徒が「電子顕微鏡」や「環境生命実験室」などを説明しました。英語を使い説明する姿は堂々としていました。

東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターとの教育協定 (7月14日)

東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター（センター長 前川透教授）と教育連携に関する協定を締結しました。「ナノテクノロジーをはじめとする先端の理数系教育の分野において、大学と高等学校間の教育プログラムの開発、展開、その成果の共有・発信面で協力する」ことを目的とした協定です。

この協定により、ナノテクノロジーをはじめとした先端の理数系教育の充実が図れるほか、大学が加入している教育ネットワークを活用した取り組みが可能となり、**海外のノーベル賞受賞者**からの生徒への指導の実現が可能となります。



日本科学未来館インタープリター体験 (7月14日)



サタデーサイエンスで毎年恒例となっているものに、「日本科学未来館インタープリター体験」があります。これは、日本科学未来館でインタープリターの技術を学び、友人に対して自ら実践する体験を通じて、プレゼンテーション技術を向上させることを目的としています。当日は「グループのメンバーごとに担当フロアを決めてのインタープリター聞き取り」を行い、その後「他3名に対する模擬インタープリテーション」を行いました。

※インタープリター：

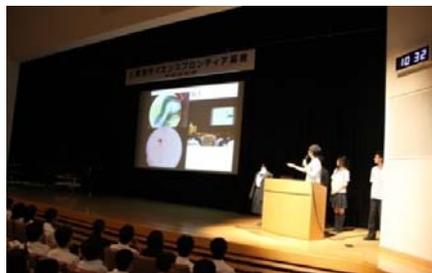
博物館へ来館される方々と双方向のやり取りをしながら、展示の解説や体験活動の進行を行う職業です。

プラネタリウム教室 (7月24日～26日)

科学技術顧問である遠山御幸先生（横浜モバイルプラネタリウム代表）にご協力いただき、毎年**プラネタリウム教室**を開催しています。今年は「横浜で見える夏の星座」等をご説明いただき、理科の授業で天体を学習し始めたばかりの小学4年生には素晴らしい機会となりました。また、その後行われた「校内見学」では**電子顕微鏡**で「クワガタに付いていたダニ」の観察を行い、また物理学を利用したおもちゃ「サウンドホースの実演」を行うなど、盛り沢山の内容となりました。小学生の皆さんにとって楽しい夏の思い出になったようでした。



学校説明会～1,906名の方にご来校いただきました！～ (7月28日、29日)



今年度の来校者の人数は、28日（土）が836名（うち中3生311名）、29日（日）が1,070名（うち中3生415名）、**合計1,906名**の方にご来校いただきました。昨年度より約500名増です。ホールでは、和田常任スーパーアドバイザー、小島常任科学技術顧問、栗原学校長による挨拶や、本校の特色ある教育、入学者選抜についての説明等を行いました。生徒によるYSFH生活の紹介等もあり、非常に活気のある説明会となりました。ホールでの説明後には、校内見学の時間もあり、生徒による活動の様子を見学していただきました。

●8月、9月の予定●

8月6日～9日：東京大学実習（サタデーサイエンス）

9月1日：サイエンスリテラシーⅡ分野別発表会

8月8日、9日：SSH研究発表会

9月15日、16日：第4回蒼煌祭（文化祭）

8月11日～16日：小笠原研修（SSH事業）

9月22日：ysfFIRST国際科学フォーラム

8月27日：始業式